

# 2020年3月期決算説明資料

---



2020年5月12日  
証券コード 2813



## 市場環境

単身世帯の増加  
女性の社会進出  
少子高齢化

人手不足

健康志向  
安全・安心

訪日外国人増加  
インバウンド

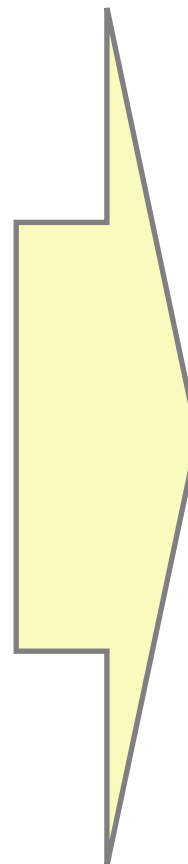
## ビジネスチャンス

中食の拡大  
食の外部化

調理の簡便化

食の多様化  
高付加価値化

日本食・和食の  
拡大・定着



ニッポンが誇る食ブランド“ラーメン”を世界へ



1. 2020年3月期 連結決算概要
2. 2021年3月期 業績予想
3. 第4四半期 トピックス（参考）

1. 2020年3月期 連結決算概要
2. 2021年3月期 業績予想
3. 第4四半期 トピックス（参考）

※ 業績数値に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=109.125円で計算しております。

## ● 連結業績

- ✓ 連結売上高は11,082百万円（前年同期比較 863百万円増収 +8.4%）  
⇒ 連結売上高110億円達成、過去最高を更新。
- ✓ 連結営業利益は235百万円（前年同期比較 49百万円増益 +26.7%）  
⇒ 海外業績（北米）の改善が進み前年同期を上回る。

## ● 単体業績

- ✓ 国内売上高は9,948百万円（前年同期比較 558百万円増収 +6.0%）  
⇒ 提案型営業の強化により外食、中食向け製品の売上が好調。
- ✓ 国内営業利益は223百万円（前年同期比較 7百万円減益 △3.1%）  
⇒ 国内における原材料価格の上昇、人件費の増加による影響。

## ● 海外業績（北米）

- ✓ 国外売上高（北米）は1,256百万円（前年同期比較 363百万円増収 +40.6%）  
⇒ 日本食レストランからの採用件数が堅調に推移。
- ✓ 国外営業利益（北米）は28百万円（前年同期比較 74百万円増益）  
⇒ 売上高増に伴い稼働率が向上、初の黒字化を達成。

(単位：千円)	2019年3月期		2020年3月期	
	実績	実績	前年同期増減比較	
			金額	増減率
売上高	10,219,115	11,082,323	863,207	8.4%
売上原価	7,818,336	8,424,094	605,757	7.7%
売上総利益	2,400,779	2,658,228	257,449	10.7%
販売管理費	2,215,071	2,422,900	207,829	9.4%
営業利益	185,707	235,328	49,620	26.7%
経常利益	223,125	245,409	22,284	10.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	124,579	△ 253,460	△ 378,039	—
EPS	152.17円	△ 309.59円	△ 461.76円	—
総資産	8,311,618	8,593,243	281,625	3.4%
純資産	4,054,106	3,717,014	△ 337,092	△ 8.3%

## 予想達成率

売上高 101.9%

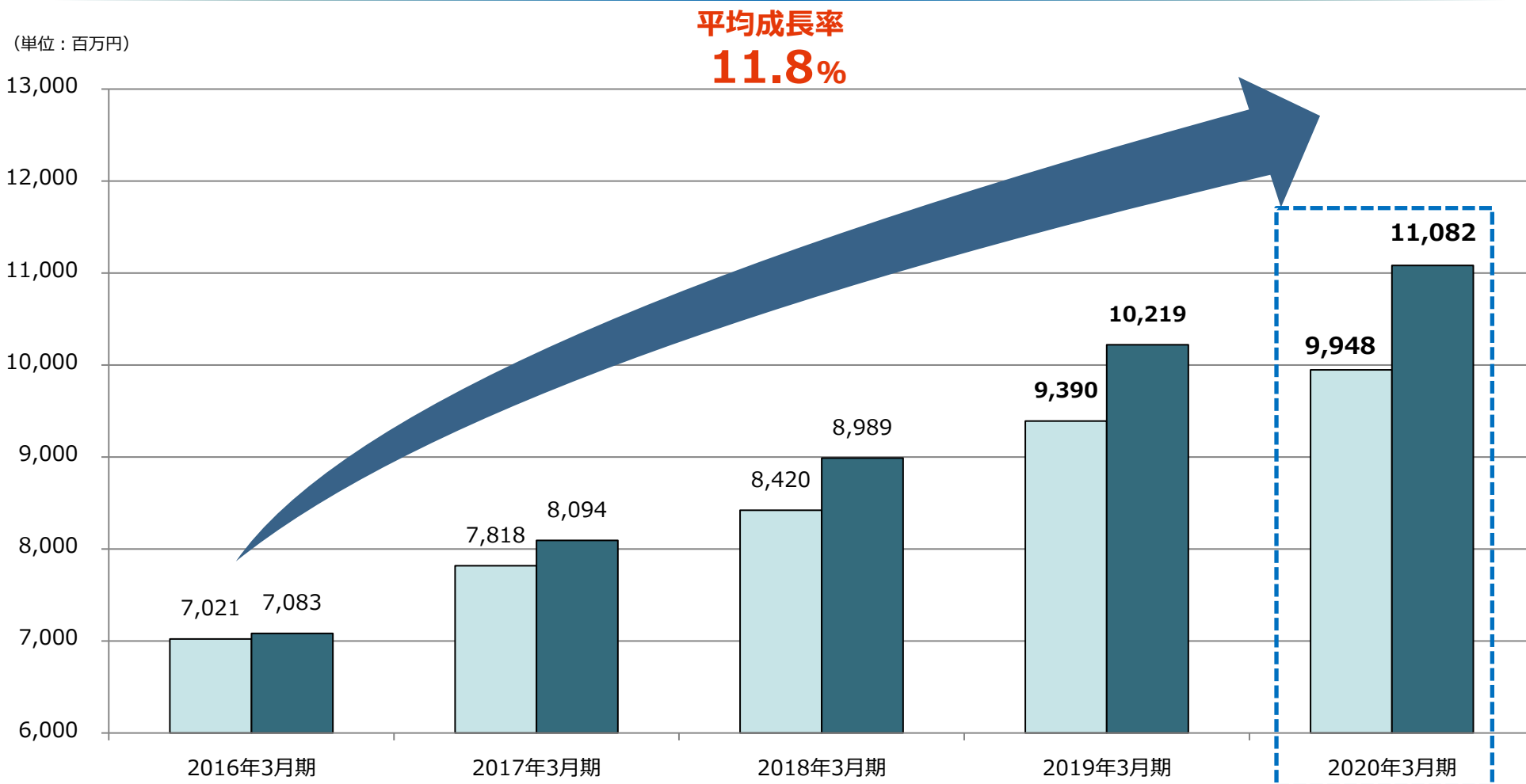
営業利益 74.2%



### 【好調理由】

- ①国内・国外共に外食市場向けの業務用調味料の販売が好調を継続。
- ②WAKOU USA INC.の工場稼働率が上昇し、業績改善が進んだものの、国内における原材料価格の上昇、人件費の増加により営業利益が下回った。

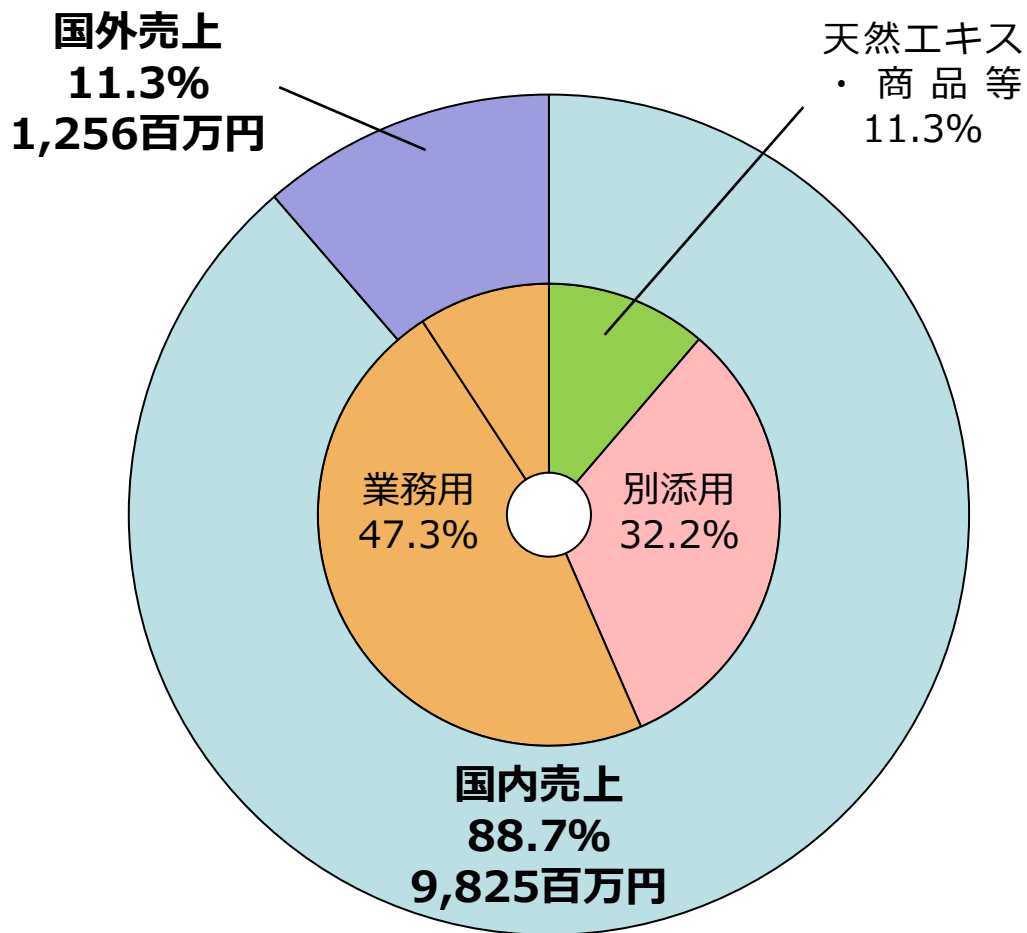
国内・国外共に外食業界への売上が好調に推移、連結売上高は前年同期比較 863百万円増（8.4%増）



※ 2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。



連結売上高は業務用製品が牽引（前年同期比：業務用9.8%増、別添用2.9%増、天然エキス・商品等15.0%増）



別添用



主に内食業界向け（袋めん付属スープ等）、中食業界向け（コンビニエンスストア向け調理麺付属スープ・めんつゆ等）で使用される形態です。また、近年では大手外食チェーンの調理オペレーション効率化に伴い、小袋形態での受注が増加傾向にあります。

本格的な専門店の味をご家庭にお届けすることをモットーに味作りをしております。

業務用



主に中食業界向け（スーパーマーケットの惣菜バックヤード等）、外食業界向け（ラーメン店、レストラン、居酒屋等）で業務用として使用される形態です。

本格的な専門店の味の再現や仕込み作業軽減等、数多くの企業・繁盛店様のご要望やニーズに沿った製品作りを心掛けております。

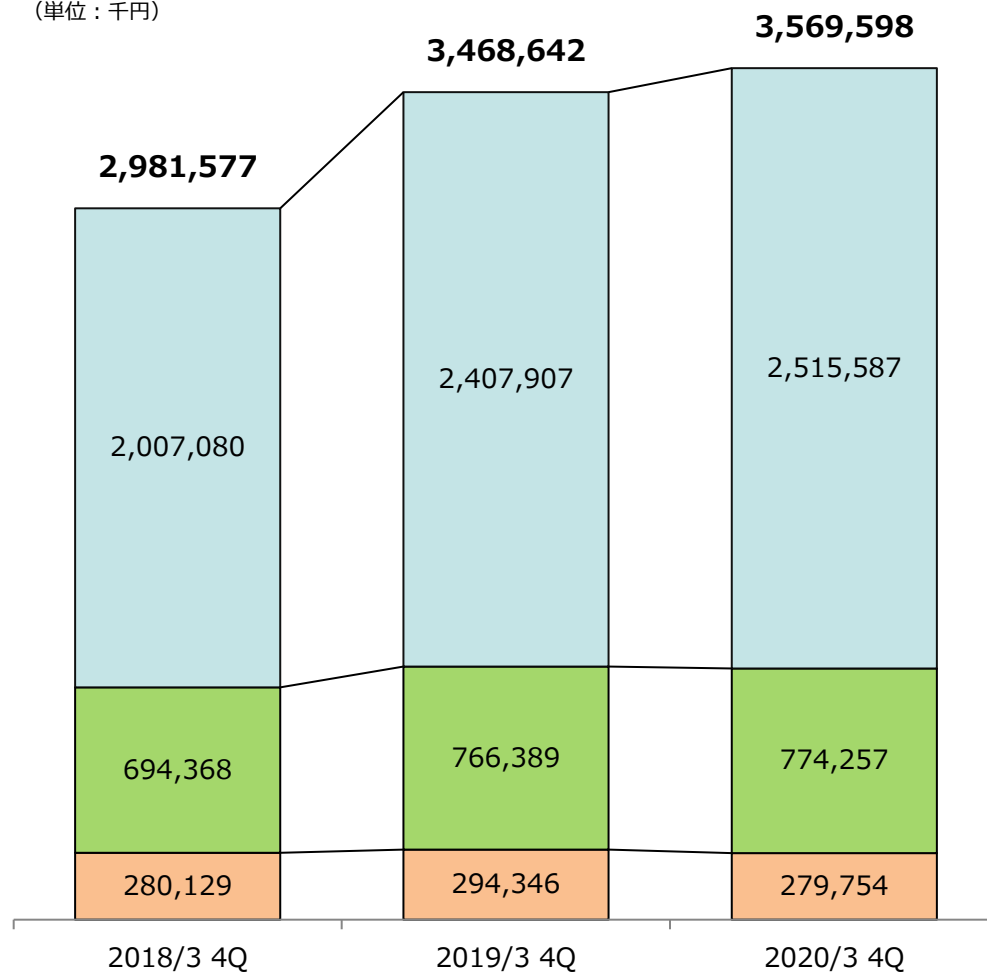
天然エキス・商品等



北海道の新鮮素材を独自の製造技術により精製した天然エキスは、原料として数多くの製品に取り入れられている他、外販もしております。

また、商品（転売品）等もこの項目に含めて表示しております。

(単位：千円)



## 別添用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
  - ・中華そば、鶏白湯ラーメンスープ
- 【内食用 ↗】
  - ・あんかけラーメンスープ、担々麺、チルド冷麺スープ、辛味噌ラーメンスープ

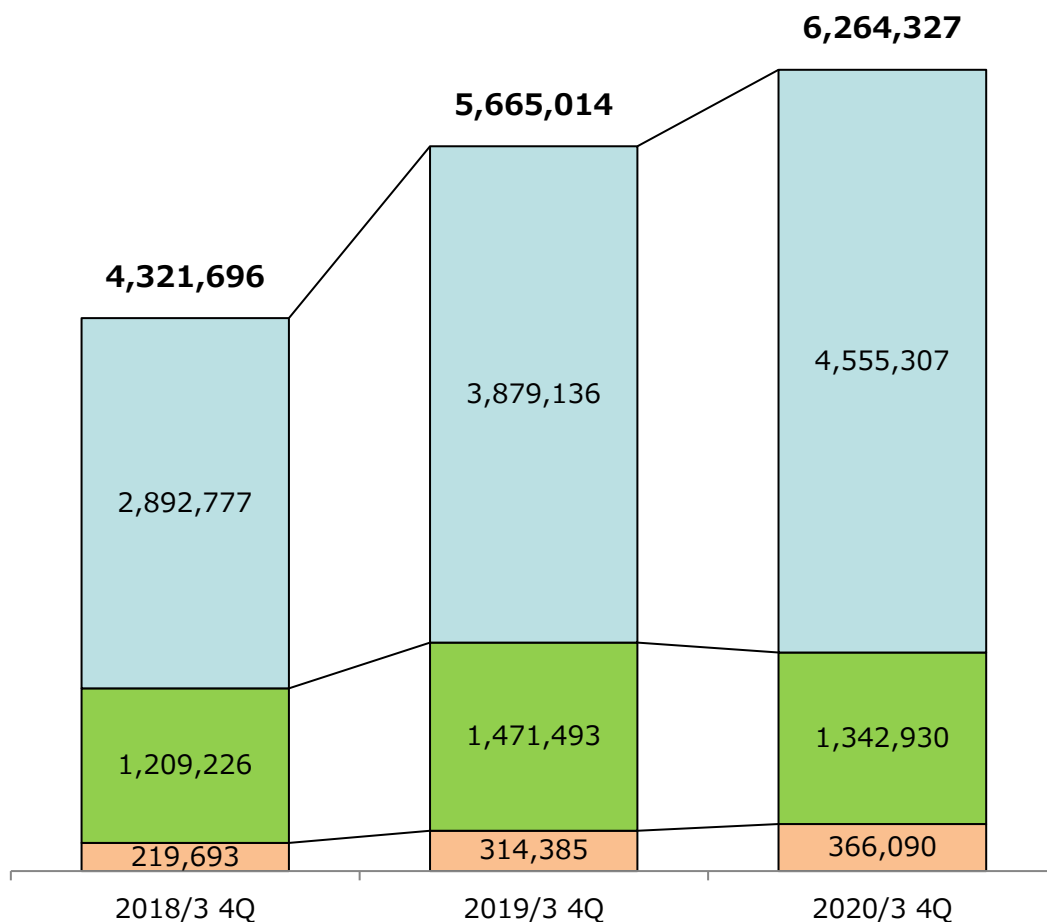
## 別添用その他 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
  - ・トムヤムスープ、ボンゴレソース、麻婆豆腐の素、酢豚のたれ
- 【内食用 ↗】
  - ・ザンギのたれ、レモンステーキのたれ

## 別添用めんつゆ 主な増減要因

- 【中食用 ↘】
  - ・そば、うどんのつゆ

(単位：千円)



## 業務用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
  - ・定番ラーメンスープ（豚骨、味噌、醤油等）、冷やし担々麺、生姜醤油ラーメン
- 【中食用 ↗】
  - ・札幌醤油ラーメン、カレーラーメン、辛子香味油

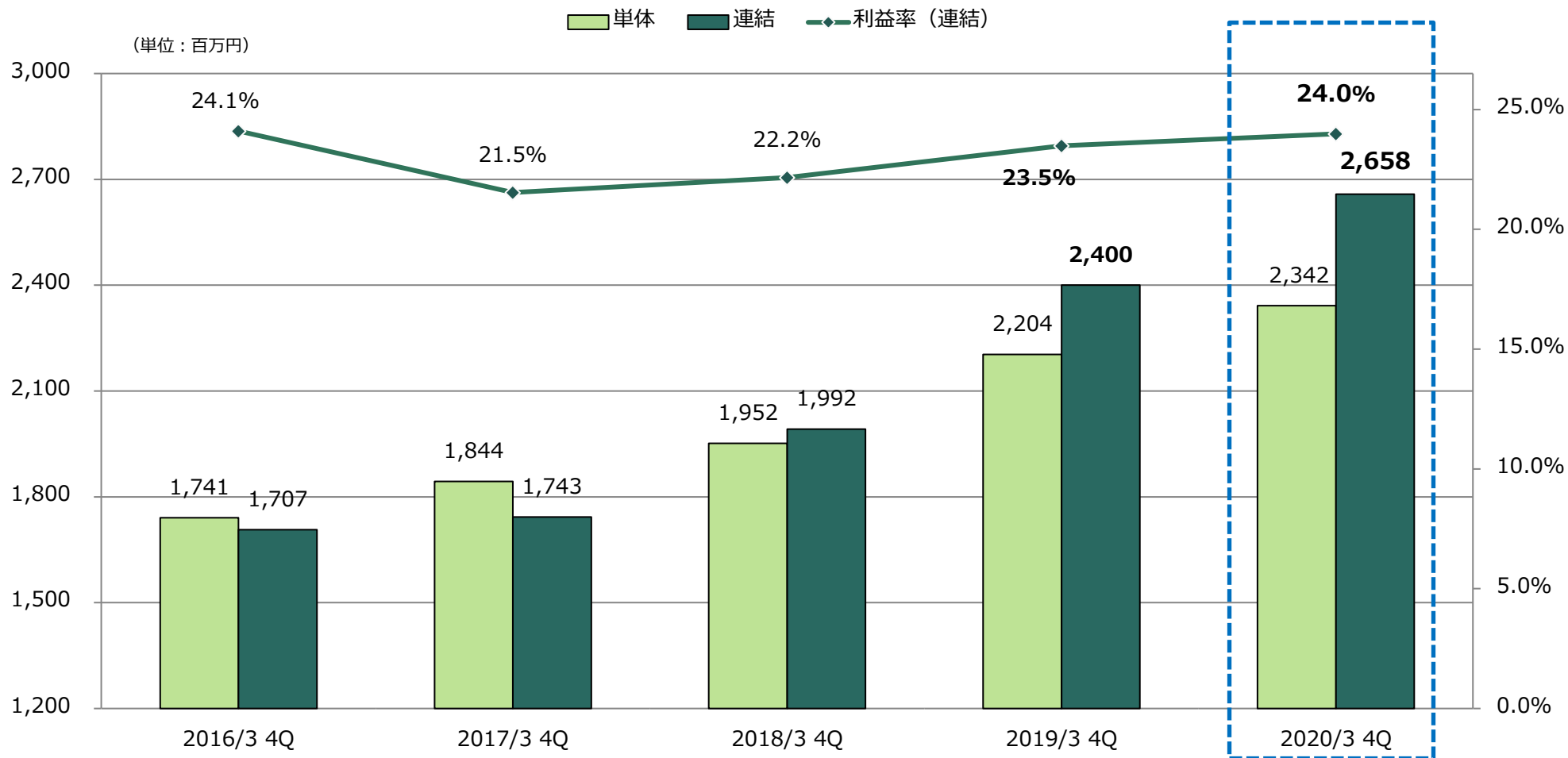
## 業務用その他 主な増減要因

- 【外食用 ↘】
  - ・麺つゆ、鍋用スープ（和風だし、塩だし）
- 【中食用 ↘】
  - ・ラー油、お弁当用の鮭だし

## 業務用畜肉・水産 主な増減要因

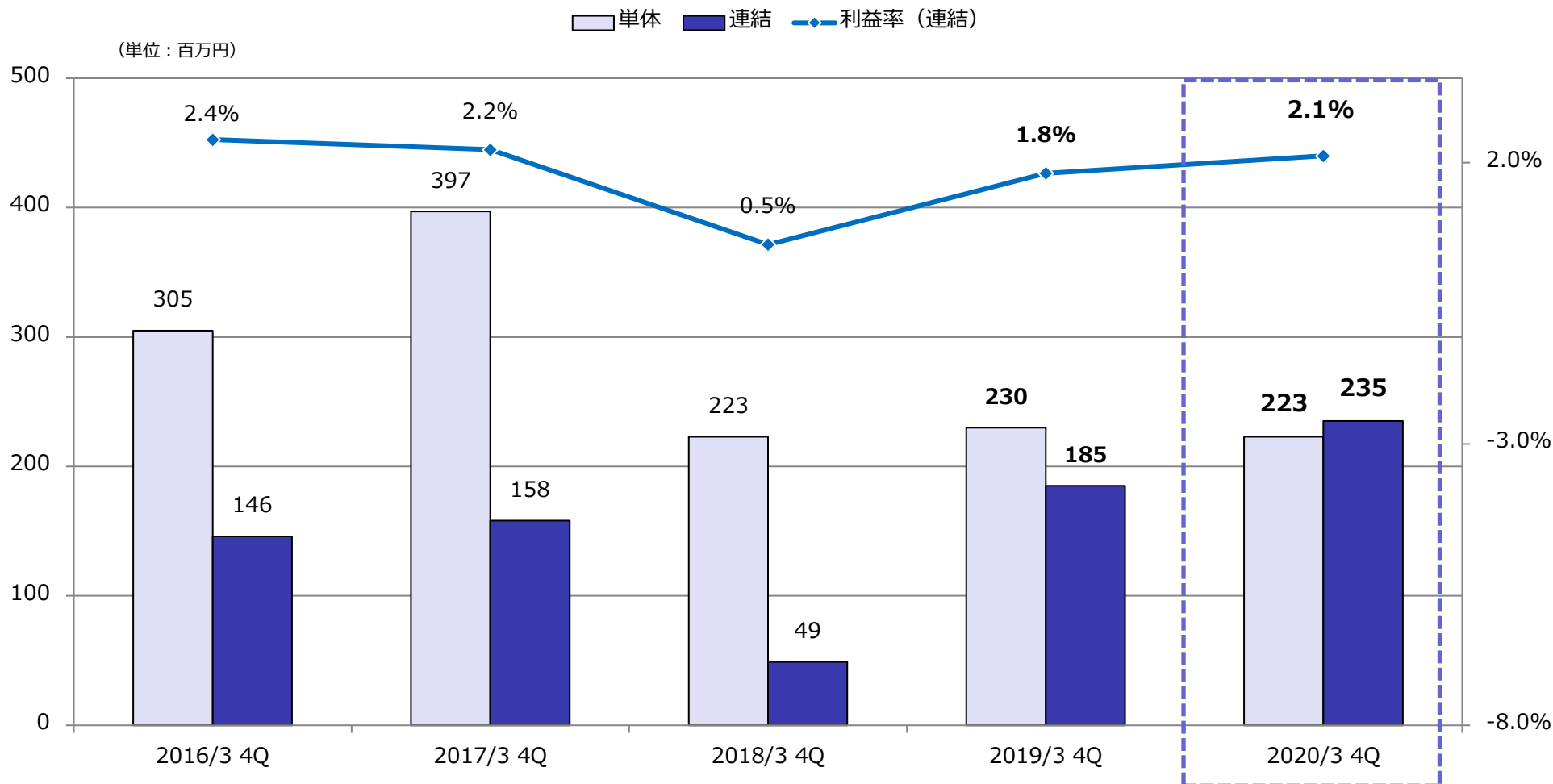
- 【外食用 ↗】
  - ・レモンたれ（焼肉のたれ）、よだれ鶏のたれ、生姜焼きのたれ、すき焼のたれ

## ■ 連結売上総利益率については、WAKOU USA INC.の業績向上に伴い改善が進む。



※ 2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。

■ 連結業績については、WAKOU USA INC.の業績向上に伴い改善へ向かう。



※ 2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。

主な増益・減益項目 (単位：千円)	2019/3 4Q		2020/3 4Q		前年同期増減比較	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売上総利益	2,400,779	23.5%	2,658,228	24.0%	257,449	10.7%
運送・保管費	640,277	6.3%	696,995	6.3%	56,717	8.9%
支払報酬	66,848	0.7%	110,230	1.0%	43,382	64.9%
その他販売管理費	1,507,945	14.8%	1,615,674	14.6%	107,728	7.1%
<b>営業利益</b>	<b>185,707</b>	<b>1.8%</b>	<b>235,328</b>	<b>2.1%</b>	<b>49,620</b>	<b>26.7%</b>

## 増益要因

**売上総利益** : WAKOU USA INC.の業績向上に伴い利益率が改善。

## 減益要因

**運送・保管費** : 各運送会社の運賃の値上げに伴い増加

**支払報酬** : 人材紹介料（拡販活動に伴う増員等）

**その他販売管理費** : 主に法定福利費、租税公課等が増加

対策

## 構造改革推進委員会を設置

- ・受注、生産体制の見直し
- ・運送、保管方法の見直し
- ・社内体制の見直し

# キャッシュフローの状況（連結）

## 【営業CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・売上債権の増加額 62百万円
- ・法人税等の支払額の増加  $\Delta$ 100百万円

## 【投資CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・有形固定資産の取得  $\Delta$ 737百万円
- ・無形固定資産の取得  $\Delta$ 55百万円

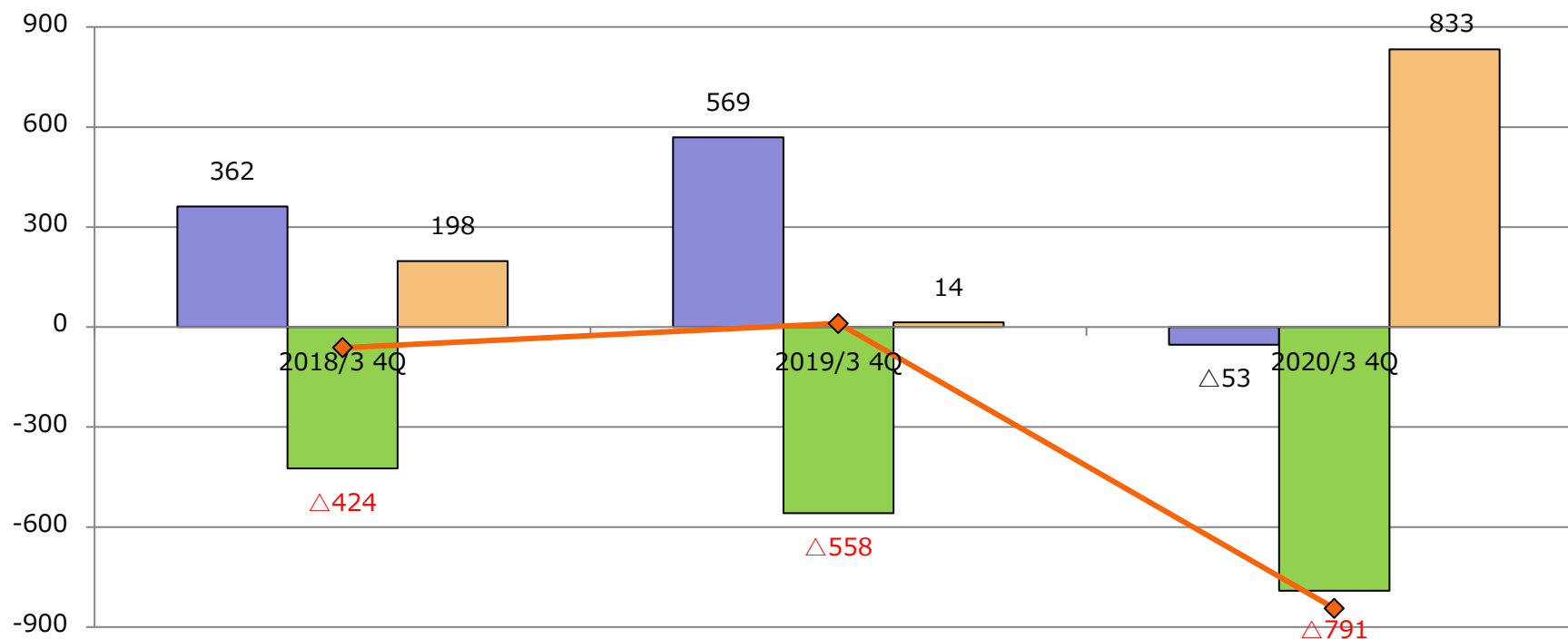
## 【財務CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・借入金の増加 +977百万円
- ・リース債務の返済  $\Delta$ 103百万円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ◆ FCF

(単位：百万円)



(単位：千円)	2019/3 4Q	2020/3 4Q	前年同期増減比較	
	実績	実績	金額	増減率
設備投資額 ※1	736,042	793,096	57,054	7.8%
減価償却費	427,700	462,108	34,408	8.0%
研究開発費	199,007	209,919	10,912	5.5%
フリーキャッシュフロー ※2	11,263	△845,174	△856,438	—
有利子負債 ※3	2,128,491	3,085,249	956,757	45.0%
配当金支払額	40,934 (50円/株) <small>(効力発生日：2018年6月21日)</small>	40,934 (50円/株) <small>(効力発生日：2019年6月24日)</small>	—	—
ROE ※4	3.1%	△6.5%	—	—

※1 主な設備投資：建物 75,141千円（主に、屋根張り替え工事）  
：土地 401,009千円（北米カリフォルニア州）

※2 増益に伴う法人税等の増加、仕入債務の減少に伴いフリーキャッシュフローが減少。

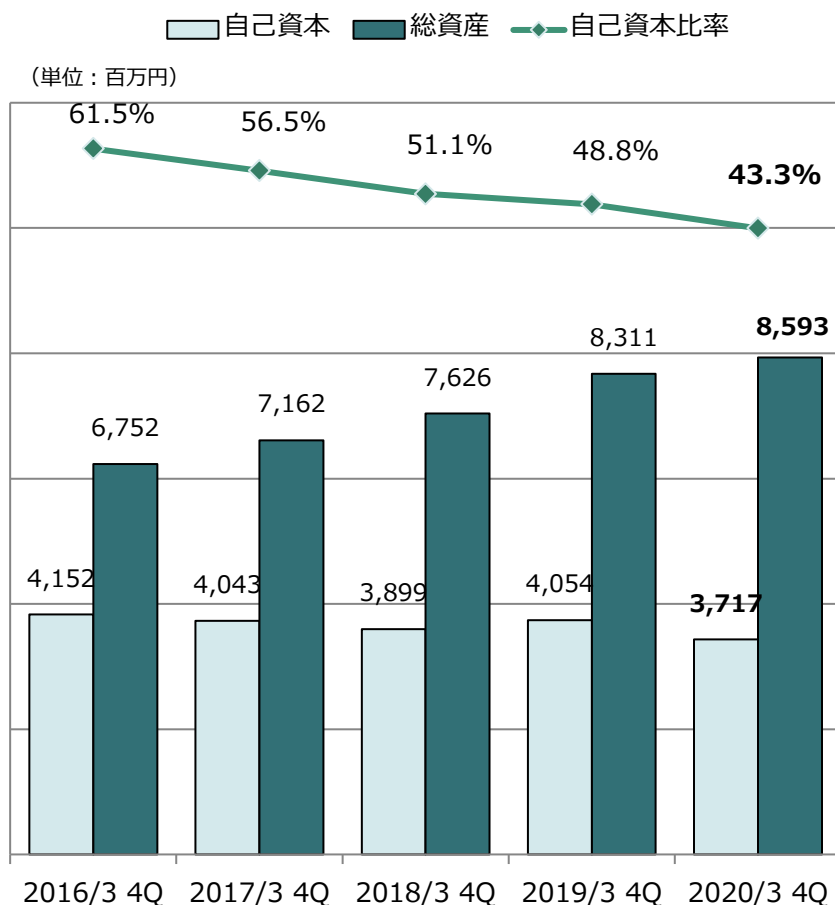
※3 設備投資に向けた資金調達により有利子負債が増加。

※4 四半期純利益の減少に伴い前期比較△9.6%ポイント減少。

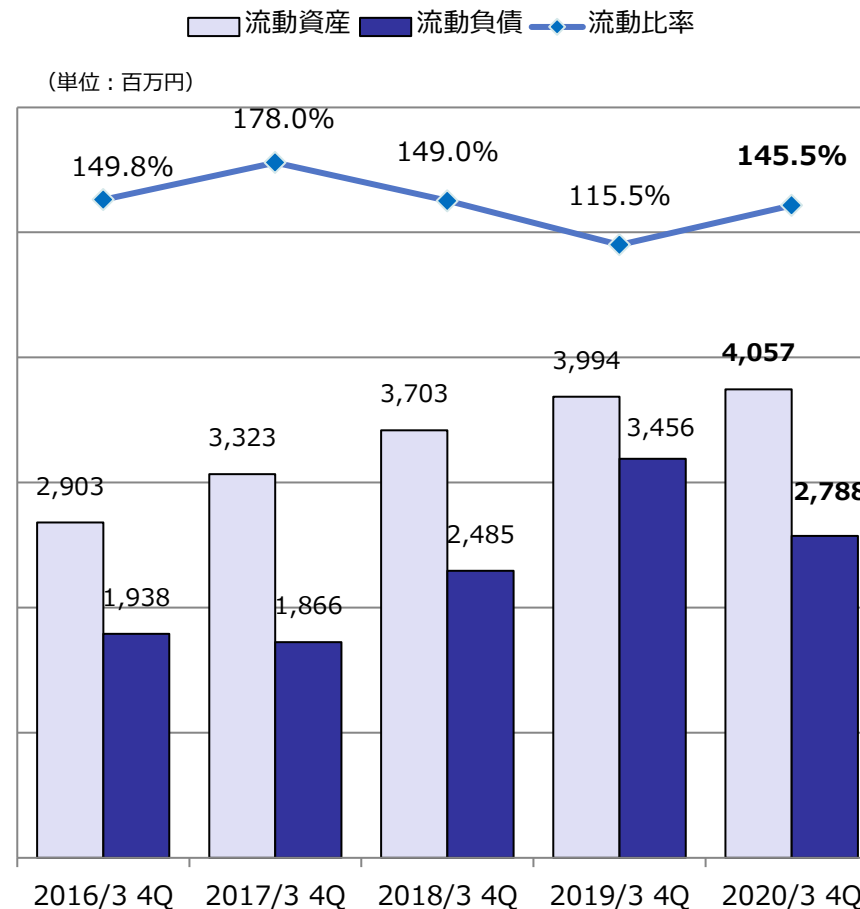


■ 設備投資に向けた借入金の増加、およびWAKOU USA INC.の減損を計上したことにより、自己資本比率が減少した。

### 自己資本比率の推移



### 流動比率の推移



1. 2020年3月期 連結決算概要
2. 2021年3月期 業績予想
3. 第4四半期 トピックス（参考）

次期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響で国内外ともに経済活動の大幅な自粛を受けており、外食市場向け業務用調味料の販売が大幅に減少し、新型コロナウイルス感染症の収束目途も見通せない状況であることから、現段階においては、次期連結業績予想を合理的に算定することが困難であり未定としております。

今後、業績予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

1. 2020年3月期 連結決算概要
2. 2021年3月期 業績予想
3. 第4四半期 トピックス（参考）

## 日清オイリオグループとの共同ブースでデリカテッセントレードショーに出展

日 時：2020年2月12日～14日

場 所：幕張メッセ

目 的：中食（量販惣菜）業界の企業様に向けた試食・提案営業

来場者：約80,428名



2020年2月12日より3日間、本イベント賛助会員である日清オイリオグループとの共同ブースでデリカテッセントレードショーに出展致しました。今年で3年連続の出展となります。

北海道ご当地グルメのラインナップ強化を図るため開発した新商品「札幌スープカレーの素」「札幌ラーメンサラダのたれ」、また、日清オイリオグループとのコラボ製品である「ハーブ&チーズオイルソース」を使ったメニューを提供いたしました。特にご当地グルメは人気が高く、大勢の来場者に試食していただき、当社商品の良さをPRをすることができました。

## IRメールを配信し、投資家の皆様とのコミュニケーションを推進

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録の皆様にニュースメールを配信しご案内しております。メール配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけますので、是非ご利用ください。



<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=2813>

※ IR配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しております。

- ◆本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◆本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。
- ◆本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：廣崎

TEL：0134-62-0505

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp